

やいたしちいきじりつしえんきょうぎかい 矢板市地域自立支援協議会だより

だいごう 第2号

ひと せいかつ やいた
～ともにつくる、すべての人がいきいきと生活できるまち・矢板～

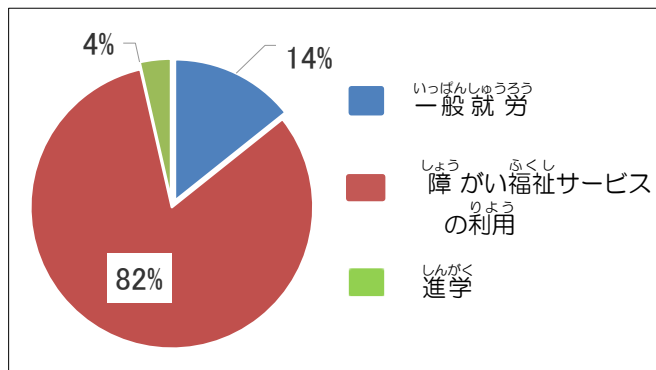
とくしゅう やいたし しよう ふくし りよう かん だい だん 特集 矢板市の障がい福祉サービスの利用に関するアンケート 第2弾



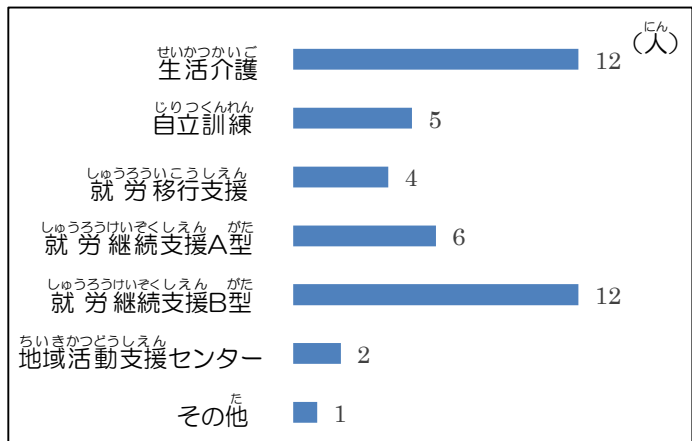
やいたしちいきじりつしえんきょうぎかい そうかんごう しめ しよう
「矢板市地域自立支援協議会だより 創刊号」に示したとおり、障がいのある
かた く しげん ふそく わ
方が暮らしていくには資源が不足していることが分かりました。
こんかい しようらいしよう ふくし りよう かろうせい とくべつしえんがっこうざい
今回は、将来障がい福祉サービスを利用する可能性がある特別支援学校在
がくせいほごしゃ たいしよう じっし りよういこう ちょうさ
学生保護者を対象にアンケートを実施し、サービス利用意向について調査をしま
した。
はいふすう にん かいとうすう にん かいしゅうりつ
配布数：40人 回答数：28人（回収率：70.0%）

やいたし げんじよう しよう ふくし りよう かん けっか 《矢板市の現状～障がい福祉サービスの利用に関するアンケート結果から》 とくべつしえんざいがくせいほごしゃへん ～特別支援在学生保護者編～

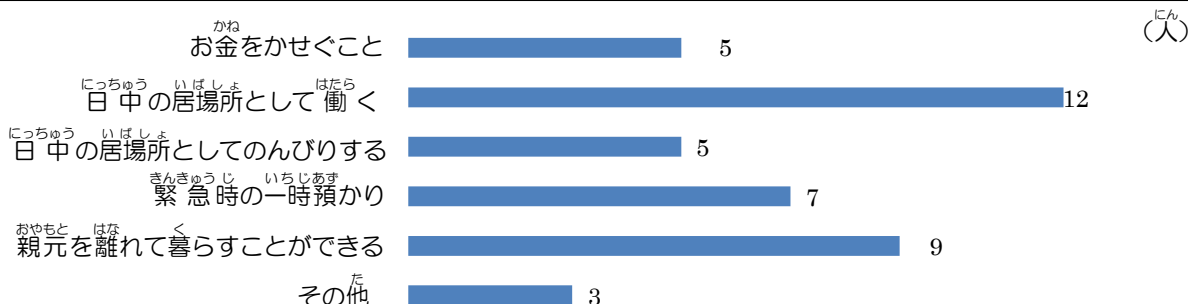
けっか
結果1 とくべつしえんがっこうそつぎょうご しょうがいふくし
特別支援学校卒業後は、障害福祉
サービスの利用を考えている方が
わりこ
8割を超えていました。



けっか
結果2 りよう せいかつかいご
利用したいサービスは、「生活介護」、
しゅうろうけいぞくしえん がた おお けっか
「就労継続支援B型」が多い結果でした。



けっか
結果3 しない じぎょうしょ ばあい きぼう きのう にっちゅう いばしょ はたら きのう
市内に事業所が増えた場合、希望する機能については、「日中の居場所として働く」機能を
もと こえ おお さまざま
求める声が多く、ほかにも様々なニーズがありました。



《矢板市の現状～障がい福祉サービスの利用に関するアンケート結果から》 ～障がい福祉サービス利用者編～

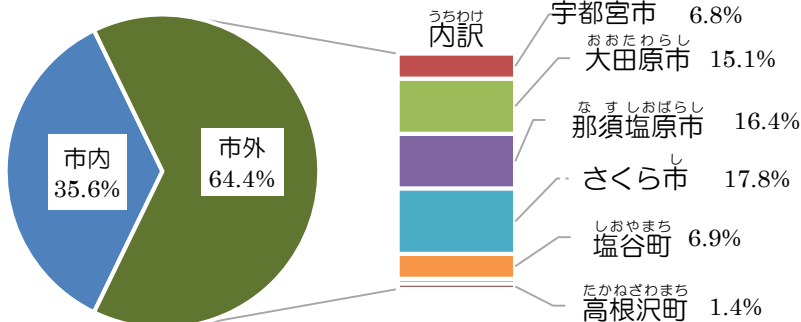
ここからは、在宅で日中通うサービスと就労するためのサービスを利用して
いる方を対象に平成30年に実施したアンケート結果を一部紹介します。
配布数：84人 回答数：72人（回収率：85.7%）



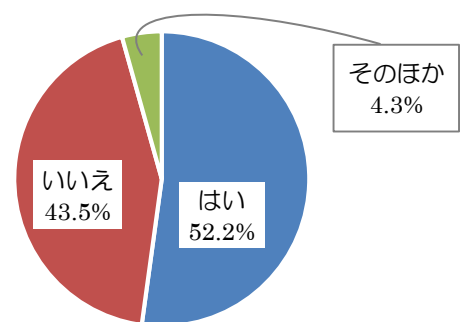
結果1

現在市外の事業所へ通っている人へ、市内に事業所が増えた場合に利用意向があるのか調査したところ、約半数の方が「利用する」と回答していた。「利用しない」と回答した方の中には、活動内容や事業所の雰囲気によって利用したいとの声があった。

①利用事業所の所在地について

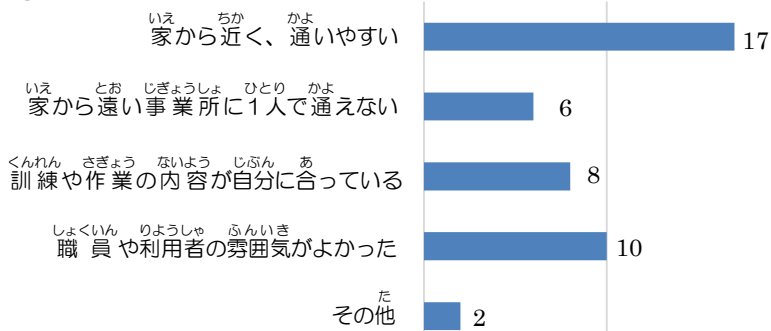


②市内に事業所が増えたら、利用するか？



③今の事業所を選んだ理由（市内事業所利用者）

(人)

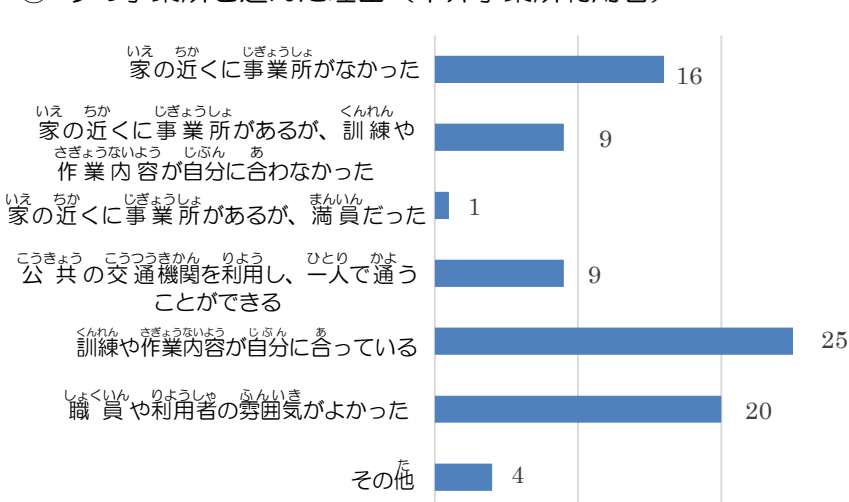


アンケート結果から「訓練や作業内容」や「職員や利用者の雰囲気」を重視していることが分かりました。市内に様々な作業内容の事業所が増えれば、市外の事業所利用者も市内の事業所を利用する可能性があるかもしれません。



④今の事業所を選んだ理由（市外事業所利用者）

(人)



まとめ

今回のアンケート調査により、「矢板市内で、障がい者が働ける事業所がほしい」「矢板市内に新しい事業所ができて選択肢が増えてほしい」など、さまざまな声が上がりました。

今後、多くの事業所に情報発信し、市内で多様なサービスを提供できる事業所や新たな事業所が増えるよう、働きかけをしていきたいと考えています。

ぶ かい かつどうしょうかい 部会活動紹介

かくぶかい ちゅうしん おこな じぎょう ごしょうかい
各部会を中心に行っている事業を御紹介します

「障がい者週間のつどい」開催しました！

12月3日から 12月9日までの 1 週間は「障害者週間」です。この「障害者週間」にあわせて、矢板市では「障がい者週間のつどい」を開催しました。今年は立石美津子氏を講師に招き、「子どもも親も 幸せになる発達に課題のある子の育て方」と題し、講話を行いました。オープニングアトラクションに、たかはら学園和太鼓クラブによる和太鼓演奏、第2部には矢っちゃれ隊によるよさこいの披露があり、盛りだくさんな内容となりました。

令和元年度は、およそ90名参加いただきました。



たかはら学園
和太鼓クラブ

矢
っ
ち
ゃ
れ
隊



子ども部会 医療的ケア児 ワーキンググループ発足しました！

子ども部会は、人工呼吸器管理、酸素吸入などの医療的ケアを要するお子さん（医療的ケア児）の、保健・医療・障がい福祉・保育・教育等の支援体制の構築を図るため、平成30年度に設置されました。令和元年度は、実態を把握するための実態調査ワーキンググループを立ち上げ、家庭訪問によるヒアリング調査、課題の抽出、今後の取り組みについて検討をしました。今後は、福祉サービスなど総合的な情報を得られるガイドブックの作成を予定しています。



医療的ケア児
ワーキンググループ

視察研修へ行ってきました！

矢板市地域自立支援協議会で、小山市にある社会福祉法人パステル CSW おとめが受託している地域生活支援拠点を視察へ行きました。



グループホーム



地域の方も利用できる
レストラン

「出前講座：障がい者福祉について学ぼう！」

この講座は、「車いす」「視覚障がい者」「知的障がい者」の疑似体験ができる講座です。

講座では、知的障がいの困った感やもどかしさを体験することができます。また声の掛け方や介助の方法などを学びます。

市内の小学校や公民館での事業にも活用されています。生涯学習情報誌「まなび」をご覧ください。



車いす体験



視覚障がい体験



知的障がい者疑似体験

令和元年度は、市内4小学校と公民館事業にて活用されました。(参加者：小学生206人、成人16人)



公民館での事業に活用していただきました♪

活用されたい方は、市生涯学習課または市社会福祉課へお気軽にお問い合わせください。



「フリースペースに集まろう！」

フリースペースは、どなたでも参加できる居場所です。初めての方も「まるごと」「いらっしやいませ」…がフリースペースです。ケア部会とボランティアが中心となり、月に1回矢板公民館団体事務室で実施しています。

愚痴や、悩みごと、とりとめのない話等々、ゆっくり・のんびり過ごしてほしい場所です。誰かとながって、笑顔になる。そんな場所です。イベントも、参加者の希望を取り入れて実施しています。気軽に参加してください！



おもしろチャンバラ！



みんなで和太鼓！



楽しいクリスマス会♪



令和2年度・3年度については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、フリースペースは中止となっております。再開の際は、ホームページや広報等でお知らせいたします。

【広報紙等に関する問い合わせ】 矢板市地域自立支援協議会事務局

矢板市健康福祉部社会福祉課

〒329-2192 矢板市本町5番4号

☎ 0287-43-1116 ファックス 0287-43-5404

